

新刊

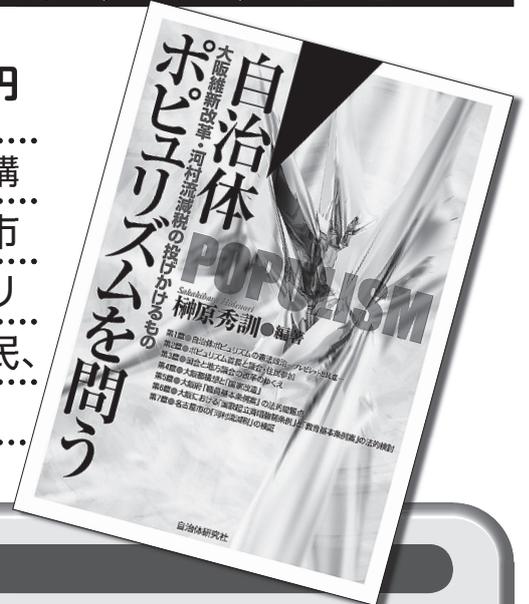
大阪・名古屋でなにが起きているのか その政治手法と政策を読む

自治体ポピュリズムを問う

大阪維新改革・河村流減税のなげかけるもの

神原秀訓 編著 A5判 254頁 定価 2520円

「大阪維新の会」が進める三つの戦略（大阪都構想・教育基本条例案・職員基本条例案）や河村市政の市民税減税など、地方政治の場でおきているポピュリズムといわれる政治は何が問題なのか、議会・市民、地方自治の課題は何かを考える。



▶ 主な内容 ◀

第1章	自治体ポピュリズムの憲法政治—プレビシットと民意—	植松健一
第2章	ポピュリズム首長と議会・住民参加	神原秀訓
第3章	国会と地方議会の改革のゆくえ	小沢隆一
第4章	大阪都構想と「国家改造」	森 裕之
第5章	大阪府「職員基本条例案」の法的問題点	城塚健之
第6章	大阪における「国歌起立斉唱強制条例」と「教育基本条例案」の法的検討	丹羽 徹
第7章	名古屋市の「河村流減税」の検証	山田 明

お問合せ・申込み先

大阪自治体問題研究所

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館5F
TEL: 06-6354-7220 FAX: 06-6354-7228

申込み書

ふりがな			書名	冊数
お名前			神原秀訓 編著 自治体ポピュリズムを問う	
連絡先	〒			
TEL	FAX		A5判 定価2520円 (本体2400円)	冊